

1 「長寿・子宝の島 あまみ」の構築 ～あまみ長寿・子宝プロジェクトの取組～

我が国においては、少子・高齢化が急速に進行しており、子どもを安心して生み育てることのできる環境づくり、高齢者が豊かな経験や知識を生かして、いきいきと生きがいを持って暮らすことのできる社会システムの構築などが急務となっています。また、経済発展、都市化の進行等を背景に、核家族化が進むとともに、地域における人間関係も希薄なものとなってきています。さらに、近年、人々は自分らしい充実した人生の実現を望み、心豊かに過ごしたいと願っていることから、健康・生きがいづくり、癒し・休養に大きな関心が寄せられてきています。



このような状況の中、奄美群島が持つ自然環境の豊かさや、固有の食文化、個性的な地域文化、ゆったりとした生活リズム、相互扶助の人間関係などは、現代の人々が求めてやまない健康や癒しの資源そのものといえます。すなわち、奄美群島は健康寿命をのばすのにふさわしい資源を有しているとともに、精神的な癒しを与える要素も十分に備えた健康づくりや癒しに最適の空間であると考えられます。



奄美群島の長寿・子宝の特性は、このような群島特有の地域資源を背景に形成されてきたものであり、これらを活用した地域活性化を図るための各種施策を展開し、群島全体を少子・高齢化に対応したモデルとして構築することは、少子・高齢化に悩む我が国にとって問題解決の一助になることが期待されます。

このような背景から、鹿児島県においては、奄美群島の長寿や子宝等の要因を分析・検証した成果を核として、少子・高齢化に対応したモデルとなる総合的な地域社会づくりと、長寿・癒し等の資源や魅力を活用した産業・観光の振興を進めることにより、「長寿・子宝・癒しの島 あまみ」を構築し、群島の自立的発展を促進することを目的とした『あまみ長寿・子宝プロジェクト』を展開することにいたしました。